



夢チャレンジ

校訓

かしこく たくましく うつくしく

令和2年10月 9日 第8号 文責 梶原 圭一



初めてのスポーツフェスティバル!

10月6日(火)に、新たな試みである「スポーツフェスティバル」を行いました。多数の保護者の皆様にご参加いただき、ありがとうございました。本年度は、新型コロナウイルス感染症防止の観点から、これまで実施してきた学校行事の在り方を見直さなければならなくなりました。新聞やニュース等でも取り上げられていますが、運動会についても、学校の実情に応じて内容を削減し、短時間で実施されたところもありますし、中には実施自体を断念された学校もあります。

本校でも、年度当初より職員間で運動会を開催するかどうするか、何度も検討を重ねてきました。その中で、「子供たちが、より主体的に、そして楽しく運動に取り組んでいる姿を見てほしい。」「このピンチをチャンスととらえ、子供たちが自分たちで考えて学習する力を高めていきたい。」「全員が充実感や達成感を味わえるものにしたい。」といった意見から、例年の運動会という形ではなく、子供たちがより考え、工夫しながら運動に楽しむ取組として実施することにしました。

これまでに誰も経験したことのない新たな取組に挑戦するという事で、職員も一から計画を考えてきました。前半は、日頃保護者の皆様が見る機会がほとんどない体育の授業を公開しました。1・2年生は「表現遊び」、3・4年生は「リズムダンス」、5・6年生は「ゴール型ボール運動(バスケットボール)」を計画しました。学習内容はそれぞれ違いますが、テーマは「自分で考え、自分たちで学ぶ」でした。表現する内容も、子供たち自身で考えたものですし、友だち同士でどのように楽しく授業を進めるか(盛り上げるか)、学習のルールも子供たちが考えました。それぞれの授業を見ながら、子供たちが真剣に、そして笑顔で運動に向かい合う姿を見ることが出来る授業でした。子供たちの満足感は、これまで以上に高かったようです。



後半は、縦割り班ごとにニュースポーツを体験しました。参観していただいた保護者の方々にも、子供たちと一緒に運動に親しんでいただけるよう工夫しました。ニュースポーツという言葉をご存じでしょうか。ニュースポーツは、子供から高齢者までを対象に「だれもが、いつでも、どこでも、いつまでも、気軽に自由に楽しめる」スポーツとして普及しています。競い合うことよりも「楽しむ」ことが重視されていますが、種目ごとに全国大会が行われているほど普及しています。

その中から、今回は「キンボール」「アジャタ」「カローリング」「輪投げ」「ディスクゲッタードッチ」「室内ペタンク」の6種目を用意しました。5・6年生がリーダーシップを発揮し、低学年の子供たちに寄り添う優しい姿も見られました。また、保護者の方々にもご協力いただき、子どもたちとともに楽しんでもらいました。子どもたちからの感想にも、「アジャタで、大人の人たちが上手に玉を入れるから、すごいなあと思いました。」というものがありません。

その後、スポーツフェスティバルと合わせて学校保健委員会も行いました。現在、スマートフォンやタブレットを使ったSNS(ソーシャルネットワークサービス)の問題に目を向け、熊本県立教育センターの森田雄治指導主事を講師としてお迎えし、「**SNSから自分の身を守る**」という内容でお話いただきました。便利な道具ではあるけれど、どんなところでトラブルが起こるのか、どんな事件に巻き込まれる恐れがあるのか等、具体的な例を示しながら説明していただきました。



今回のスポーツフェスティバルについては、誰も経験したことのない取組ですから、スムーズにいかなかった場面もありましたが、本校の掲げる学校教育目標「**さらに一步前へチャレンジ!「自ら学ぶ」坂っ子の育成**」につながる取組であったと思います。この取組に挑戦し、その成功のために努力してくれた59名の子どもたち、そして職員を誇りに思います。ご協力、ありがとうございました。

子どもたち一人一人のよさを伸ばすために

童謡詩人の巨星といわれた金子みずぶさんの詩「私と小鳥と鈴と」の中に、「みんなちがって、みんないい」というフレーズがあります。この詩には様々な意味が込められているのですが、「みんな」という言葉を子どもたちに置き換えると、子どもたちは一人一人違う個性を持っていて、さまざまな集団の中でその個性を生かし、よさを伸ばしながら生活していくということになります。学校は、その個性を発揮できる環境づくりに力を入れていかなければならないと思います。子どもたち一人一人の個性が違うのですから、よさや可能性を最大限伸ばして自立と社会参加ができるよう、一人一人の教育的ニーズに応じた指導と支援を考えていく必要があります。子どもたちに対してどんな言葉かけを行い、どんな指導を行うことで、より分かりやすい授業に近付くのかを職員が学ぶため、校内研修を行いました。

講師として熊本県立教育センターの堀川 和則 特別支援教育研修室長をお迎えし、様々な子どもたちの言動の背景にある見方や考え方に応じた指導の在り方を学びました。また、具体的な演習を交えながら、読むことや計算すること等、様々なことに苦手意識をもつ子どもたちにどのような指導や環境づくりをすることが必要かを考えていきました。この研修で学んだことを基に、全職員で知恵を出し合いながら、これからも子どもたちが安心して学べる教育環境の整備を進めていきたいと思ひます。



【お礼】

安心メール等でも本校ホームページについて紹介していますが、毎日多くの方々に閲覧していただいております。5ヶ月ほどで10000件程カウンターが増えています。今後も本校の取組について掲載していきますので、閲覧をよろしくお願ひいたします。

<今後の主な予定>

10月12日(月)	天草教育事務所巡回訪問
10月19日~	「熊本の心」公開授業週間
10月27日(火)	火災避難訓練
10月28日(水)	道徳デー